平尾保育園

所　在　地　　豊川市平尾町上貝津６６－１
開設年月日　　昭和４５年１１月１日

《あゆみ》

昭和２６年、わが地区に保育園を作りたいという住民の声が起こり、民生委員、婦人会、地区委員が集まり相談を行い、翌年、町内の公民館(芝居小屋)において、保母１名により、新入学児を対象とした入学前３カ月間程度の保育が始まりました。昭和２８年には、公民館(芝居小屋)の管理者が責任者となり、楽屋を保育室、舞台を遊戯室として利用し、保母１名による年間保育となりました。昭和２９年には、町内会より補助金を受け、平尾保育園が開設され、園長１名、保母２名、給食係１名、園児３６名(4、５歳児)になりました。当時、２階の客席が格好の遊び場として使われ、パンとミルクは支給されましたが、副食は父母の持ち寄りの材料で煮炊きされていました。昭和３０年には、３歳児も入所するようになり、翌年、千両小学校の古材の払い下げを受け、保育室、便所を増築、昭和４１年には、給食室が増築されました。昭和４５年１１月には、豊川市保育協会の保育園となり、昭和５１年に園舎が全面改築され、昭和５５年には保育室、便所が増築されました。

《保育目標と方針》

◎よく遊び、心豊かな、たくましい子ども－豊かに生きる力を育てる－

・自分で考え行動する子ども
・相手の良さがわかる子ども
・自然とふれあい元気よく遊ぶ子ども

〇さまざまな体験や経験を通し、意欲的に遊ぶ中で感性を育む保育を進める。
〇子どもの安心と安全を基本として、子どもの生活を確かなものにし、楽しく遊べる豊かな環境づくりを目指す。
〇豊かな愛情を持ち、一人ひとりの気持ちをしっかり受け止め、子どもの主体的な活動を育む。
〇子どもを中心に家庭や地域との信頼関係を築き、環境を通して人や物との関わりを大切にする。

《特色》

園周辺は緑豊かで自然に恵まれ、散歩などで視野を広めたり、園庭に畑を作り野菜の世話や収穫、クッキング等食育を進めています。また、５歳児が平尾荘、愛厚ホーム豊川苑の行事に招かれ、入所者の方たちと交流をするなど、様々な生活体験をしています。また、隣接する平尾小学校との交流もあり、連携をもって保育に取り組んでいます。